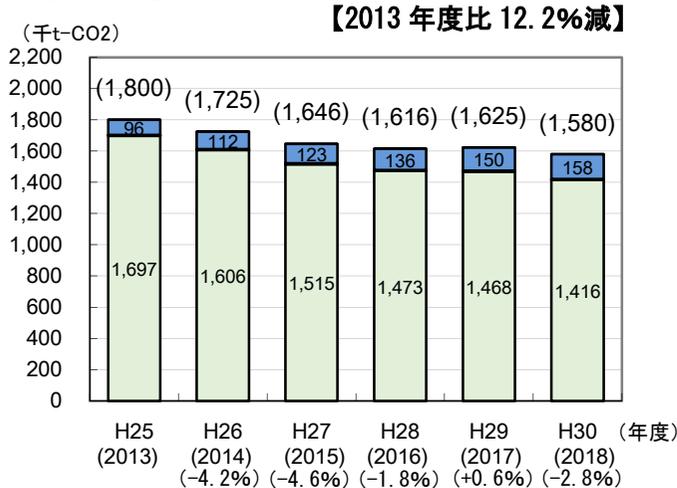


# ゼロカーボン戦略策定に向けた基礎データ

## 1. 脱炭素化に関する基礎データ

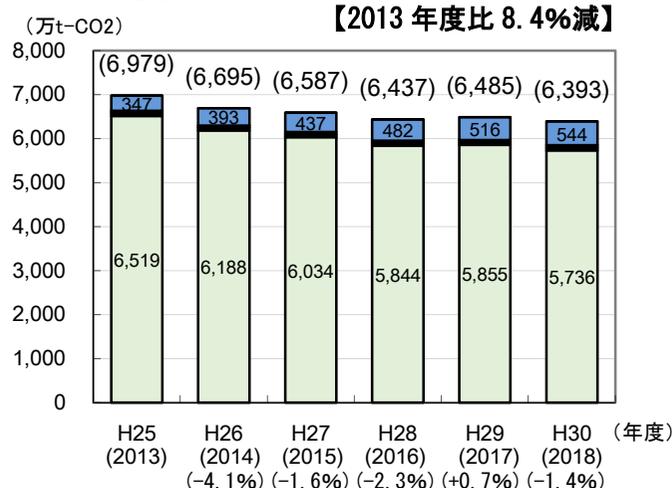
### (1) 温室効果ガス排出量の推移

#### ① 豊島区



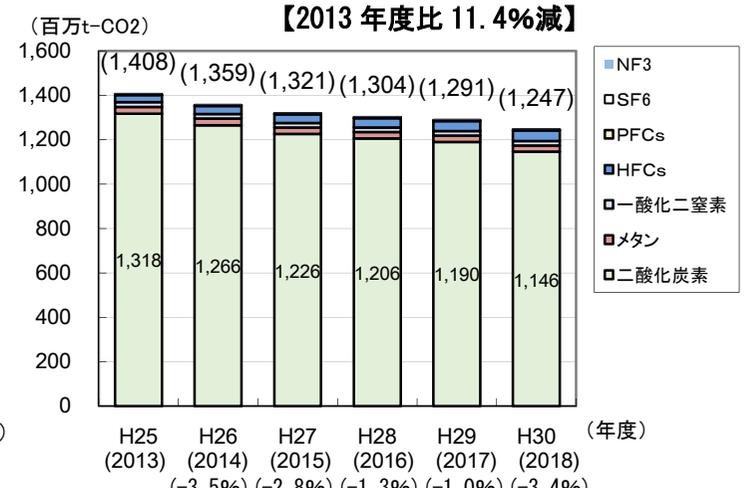
出典: オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」  
「特別区の温室効果ガス排出量」

#### ② 東京都



出典: 東京都環境局「都における最終エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量総合調査」  
※H30年度は速報

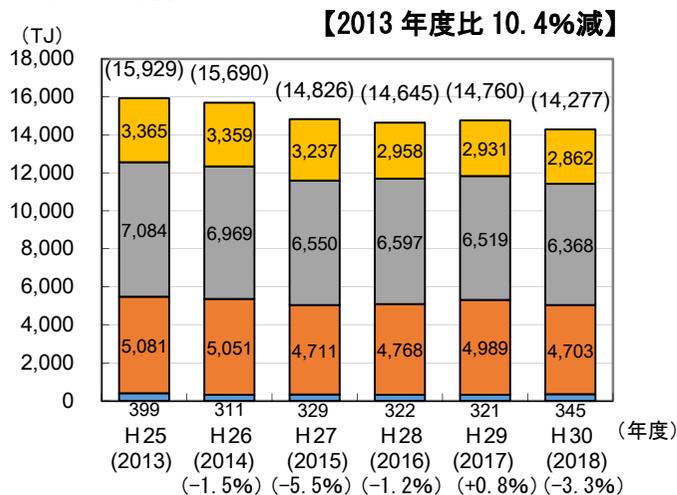
#### ③ 国



出典: 国立環境研究所「温室効果ガスインベントリオフィス」  
「日本の温室効果ガス排出量データ」

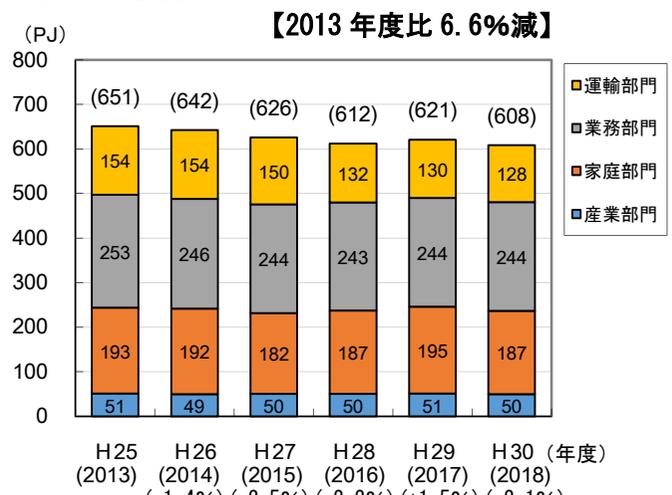
### (2) エネルギー消費量の推移

#### ① 豊島区



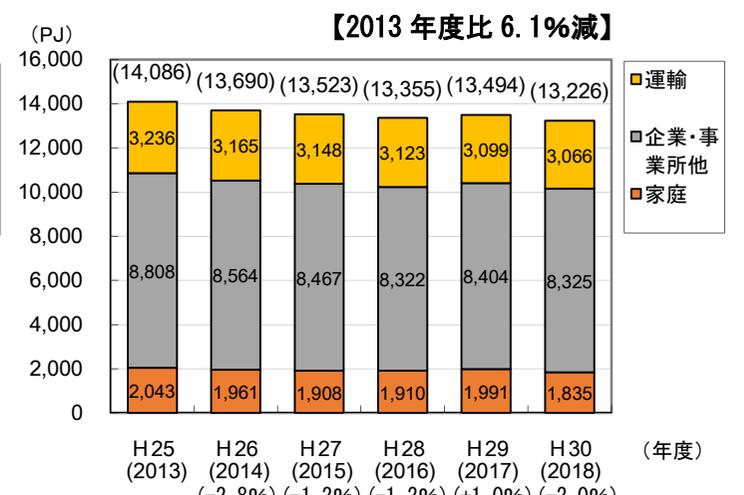
出典: オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」  
「特別区の温室効果ガス排出量」

#### ② 東京都



出典: 東京都環境局「都における最終エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量総合調査」  
※H30年度は速報

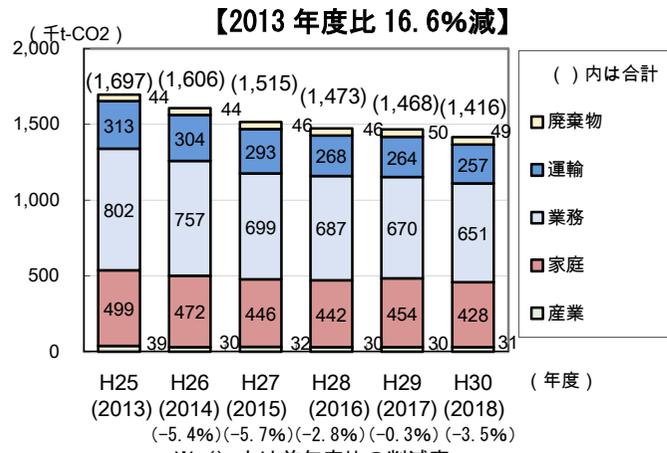
#### ③ 国



出典: 資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」

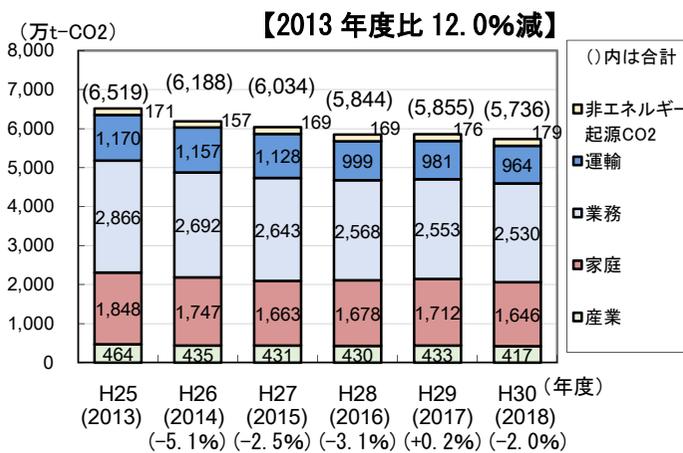
### (3) 部門別CO<sub>2</sub>排出量の推移

#### ① 豊島区



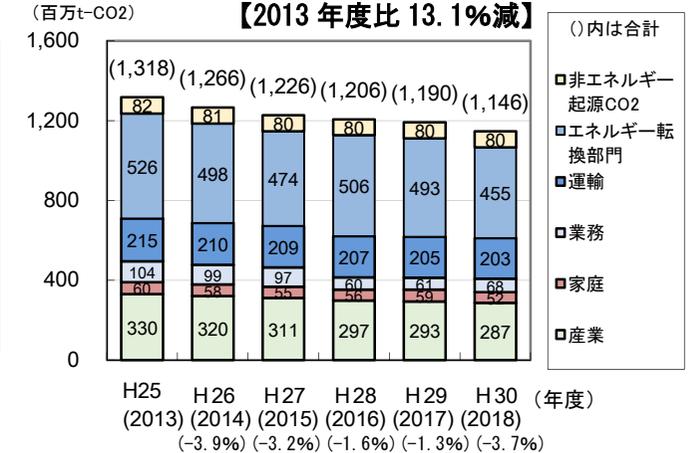
出典: オール東京 62 市区町村共同事業  
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」  
「特別区の温室効果ガス排出量」

#### ② 東京都



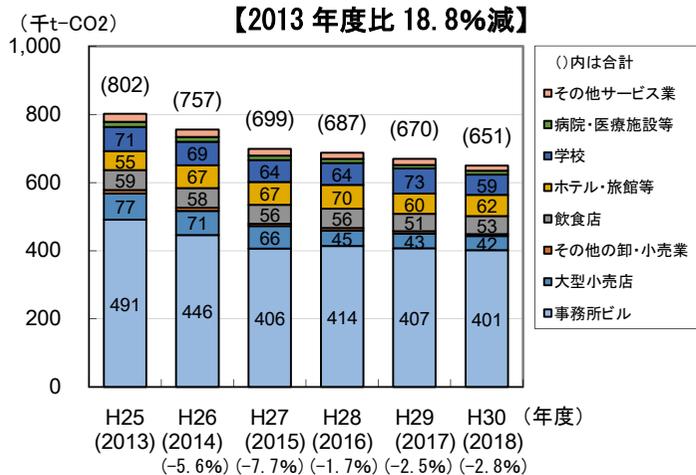
出典: 東京都環境局  
「都における最終エネルギー消費量  
及び温室効果ガス排出量総合調査」

#### ③ 国



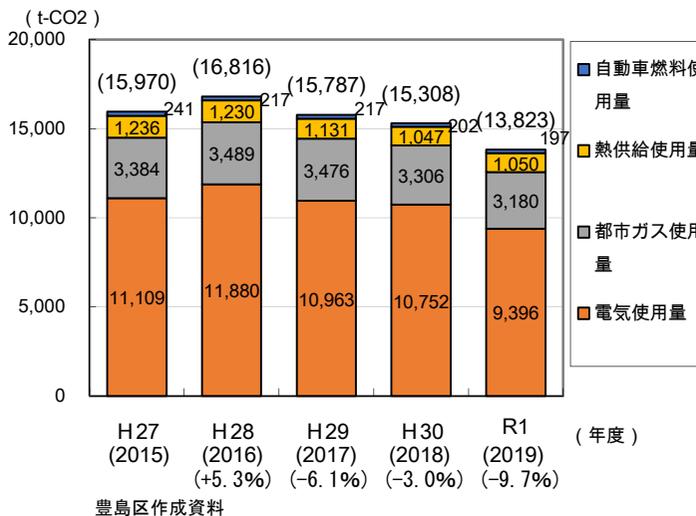
出典: 国立環境研究所  
「温室効果ガスインベントリオフィス」  
「日本の温室効果ガス排出量データ」

### (4) 豊島区の業務部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移

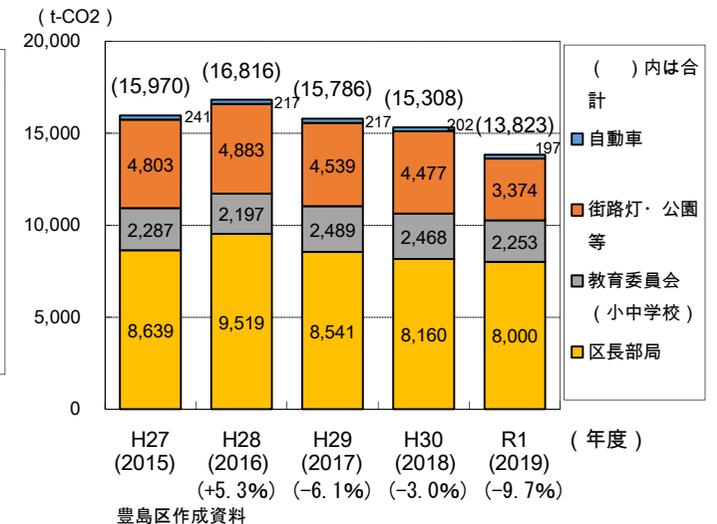


出典: オール東京 62 市区町村共同事業  
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」  
「特別区の温室効果ガス排出量」

### (5) 豊島区役所のエネルギー源別温室効果ガス排出量の推移

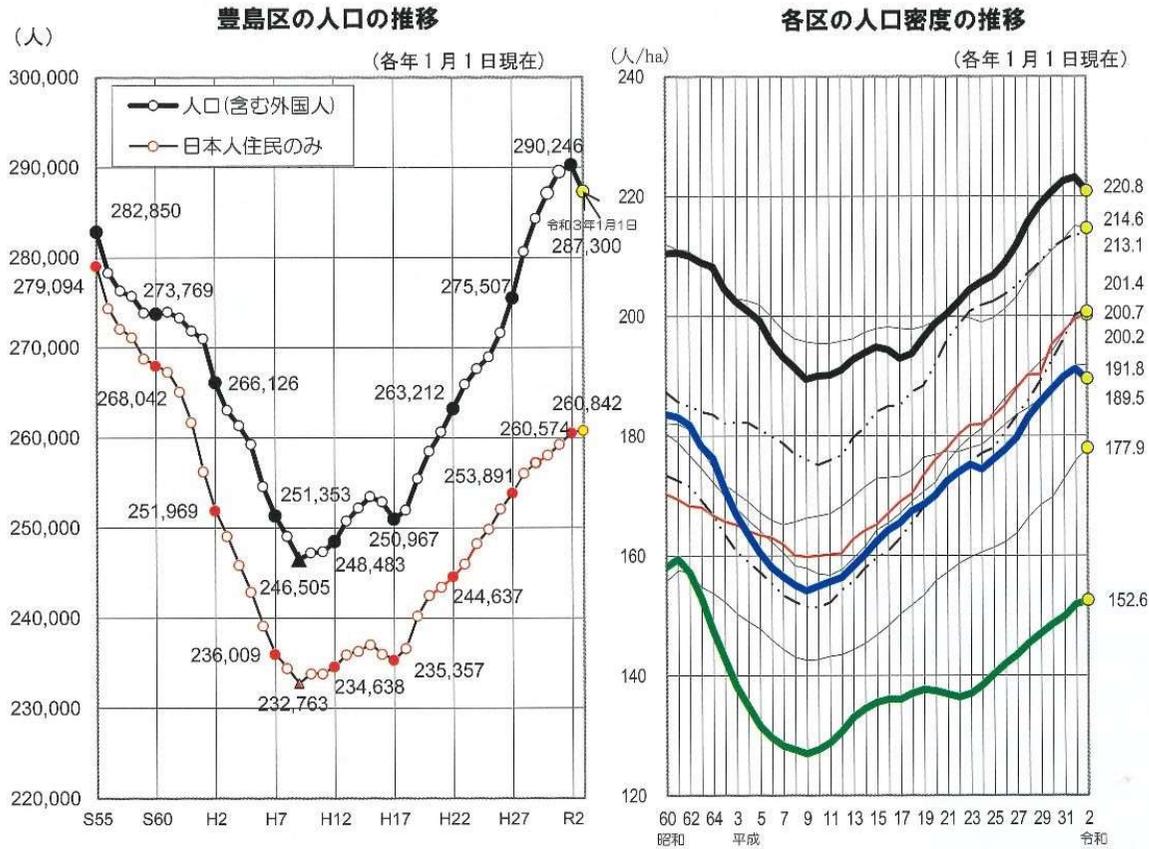


### (6) 豊島区役所の分野別温室効果ガス排出量の推移



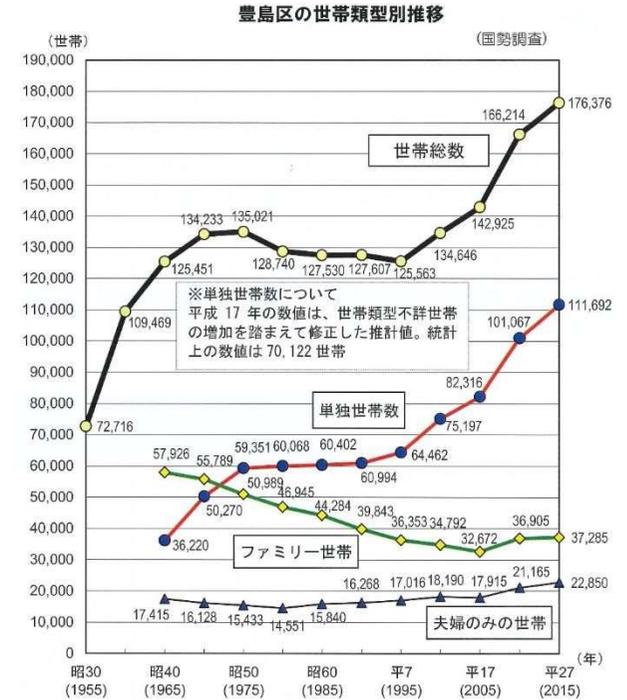
## 2. 豊島区に関する基礎データ

### (1) 人口と人口密度の推移



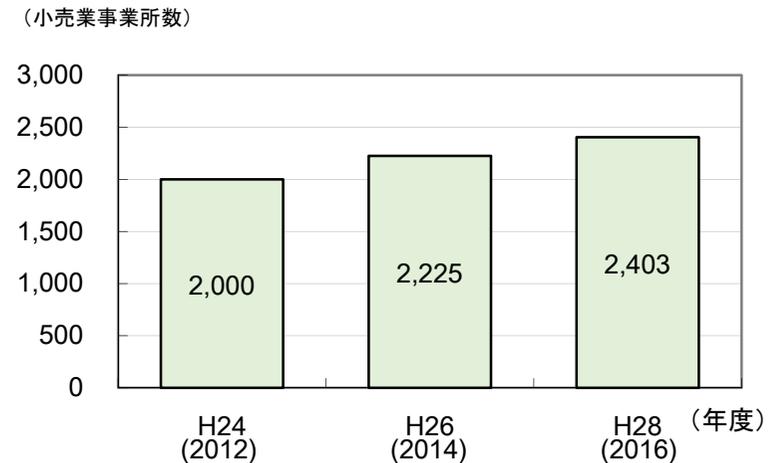
出典：豊島区  
「未来戦略推進プラン 2021 将来像編」

### (2) 世帯類型別の推移



出典：豊島区  
「未来戦略推進プラン 2021 将来像編」

### (3) 小売業事業所数の推移



出典：経済産業省  
「経済センサス」、「商業統計」



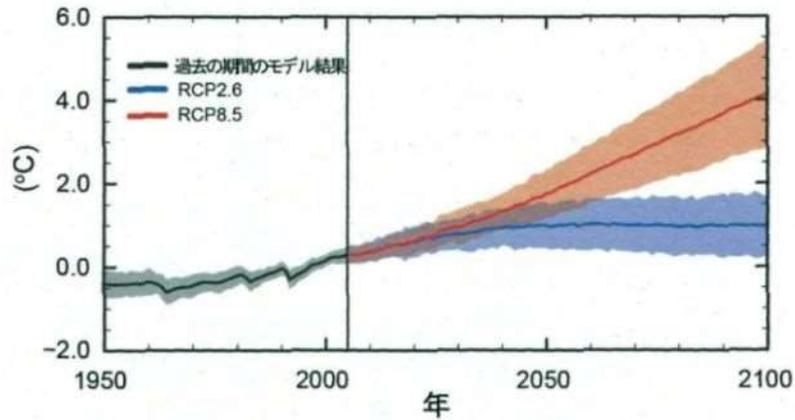
### 3. 気候変動に関する基礎データ

出典：オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」  
「気候変動への適応策に関する調査研究 報告書（2018～2019 年度）」

#### (1) 世界の平均気温の変化

IPCC 第 5 次評価報告書によると、1880 年から 2012 年の間に世界の平均気温は 0.85℃上昇しており、人為起源の温室効果ガスの排出がその主な要因であった可能性が極めて高いことが示された。

21 世紀の終盤の世界平均地上気温の変化については、温室効果ガスの排出シナリオ<sup>※7</sup>ごとの予測結果が示されている（図Ⅱ-1-2）。厳しい地球温暖化対策を取らなかった場合（RCP8.5シナリオ）では最大で 2.6～4.8℃、厳しい地球温暖化対策を取った場合（RCP2.6シナリオ）では 0.3～1.7℃上昇する可能性が高い。



資料：気象庁ウェブサイトの「これからの世界の気候の変化」ページ（一部改題）（アクセス日：2020年2月4日）

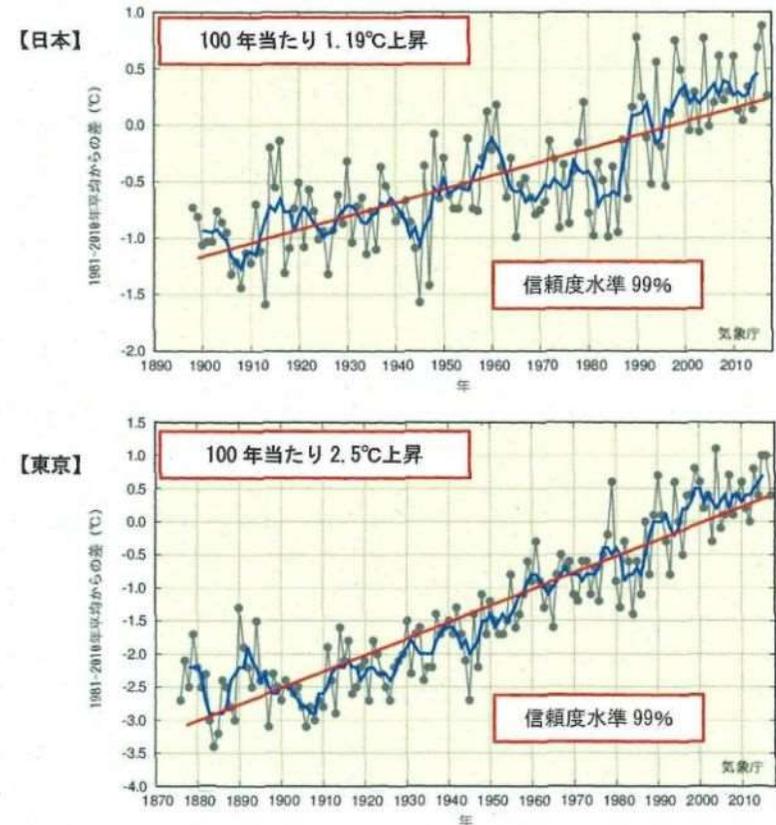
図Ⅱ-1-2 世界平均地上気温の変化

#### (2) 東京における気候の変化

##### ① 平均気温

日本の年平均気温の長期的な変化傾向は、100 年当たり 1.19℃の割合で上昇している（世界全体では、100 年当たり約 0.73℃の割合）が、顕著な高温を記録した年は、概ね 1990 年代以降に集中している。

東京（東京管区気象台（千代田区））では、都市化によるヒートアイランド現象の影響も加わって日本平均よりもさらに高くなり、100 年当たり 2.5℃上昇している。

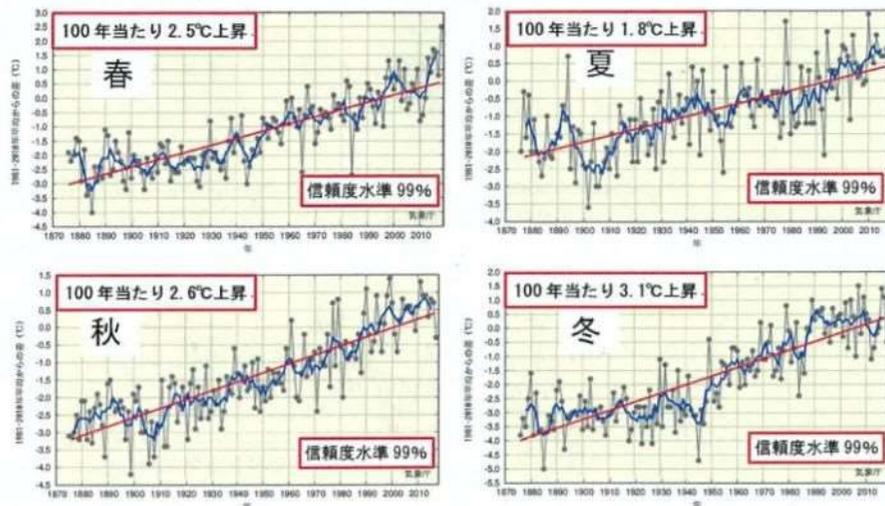


注1) 日本は、1898 年以降観測を継続している気象観測所の中から、都市化による影響が小さく、特定の地域に偏らないように選定された 15 地点（網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、多度津、宮崎、名瀬、石垣島）の月平均気温データ。

注2) 東京は、2014 年に観測場所が移転されているが、その影響を取り除く補正が行われている。  
出典：東京管区気象台 気象防災部 気候変動・海洋情報調整官 田中明夫氏「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(気候変動への適応策に関する講演会、2018 年 7 月 19 日)

図Ⅱ-1-3 日本と東京の年平均気温の偏差

東京の100年当たりの平均気温の変化について季節別に見ると、春が2.5℃、夏が1.8℃、秋が2.6℃、冬が3.1℃の割合で上昇している。  
冬の気温上昇が顕著なのは、ヒートアイランド現象の特徴と見られている。

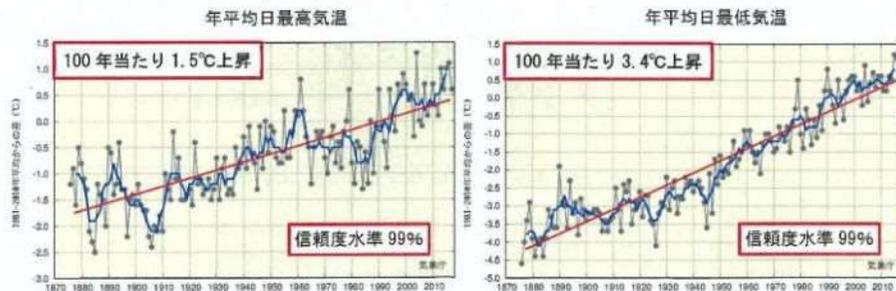


注1) 2014年に観測場所を移転しているが、その影響を補正済み  
資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図Ⅱ-1-4 東京の季節別の平均気温の偏差

### ② 日最高気温、日最低気温

東京の最高気温、最低気温の100年当たりの変化を見ると、最高気温が平均1.5℃、最低気温が平均3.4℃の割合で上昇している。

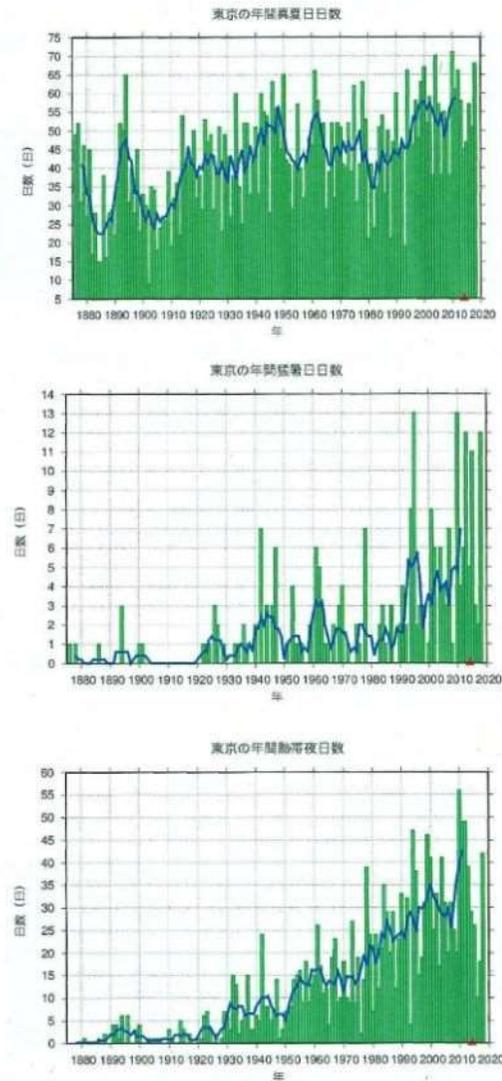


注1) 2014年に観測場所を移転しているが、その影響を補正済み  
資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図Ⅱ-1-5 東京の最高気温、最低気温偏差(年平均)

### ③ 真夏日、猛暑日、熱帯夜の年間日数

東京の真夏日(日最高気温30℃以上)、猛暑日(日最高気温35℃以上)、熱帯夜(日最低気温25℃以上)の日数は、いずれも増加している。

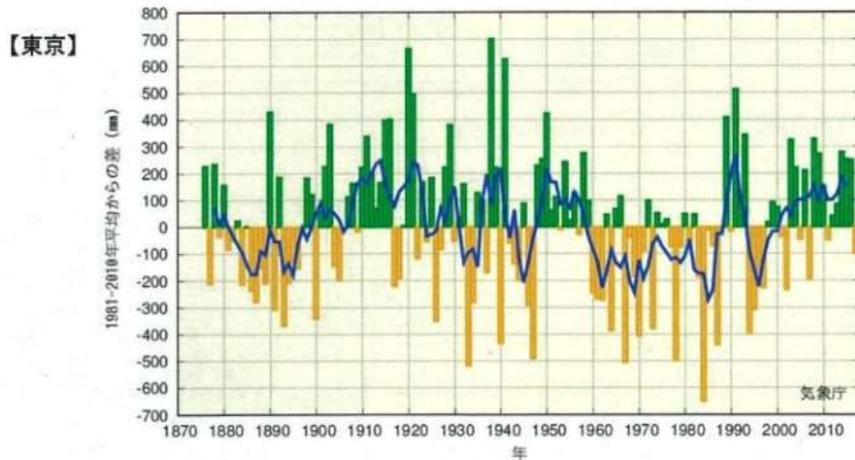
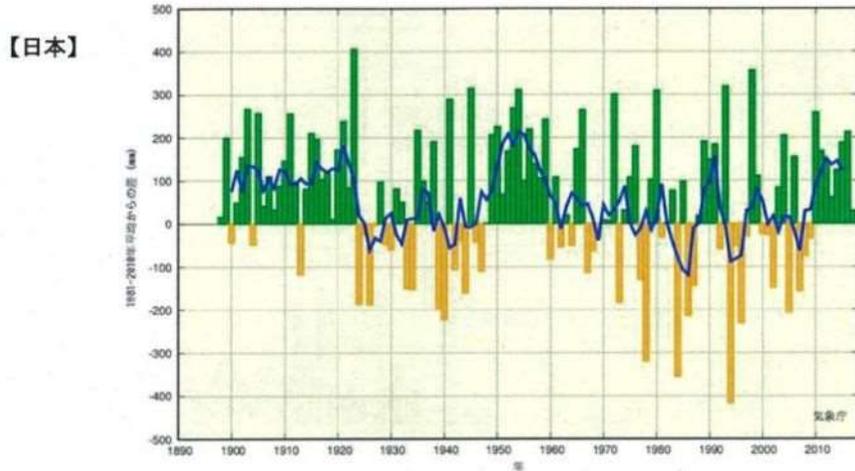


注1) 2014年に観測場所が移転されているが、その影響を取り除く補正が行われている(赤三角の印)  
出典：東京管区気象台ウェブサイト「気候変化レポート2018～関東甲信・北陸・東海地方～資料集」([https://www.jmu-net.go.jp/tokyo/sub\\_index/kikouhenka/data/top.html](https://www.jmu-net.go.jp/tokyo/sub_index/kikouhenka/data/top.html)) (アクセス日：2020年2月4日)

図Ⅱ-1-7 東京の真夏日、猛暑日、熱帯夜の日数

④ 年平均降水量

日本、東京とも年降水量は、年々変動が大きくなるものの、明瞭な増減傾向は見られない。

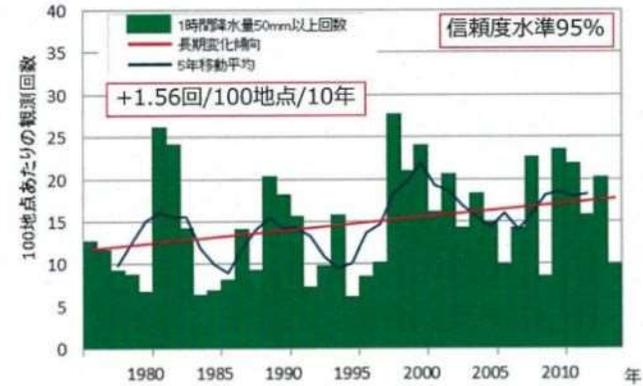


注1) 日本のデータは、全国 51 地点のデータを整理したもの  
資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図 II-1-7 日本と東京の年降水量の偏差

⑤ 短時間強雨の回数、無降水の日数

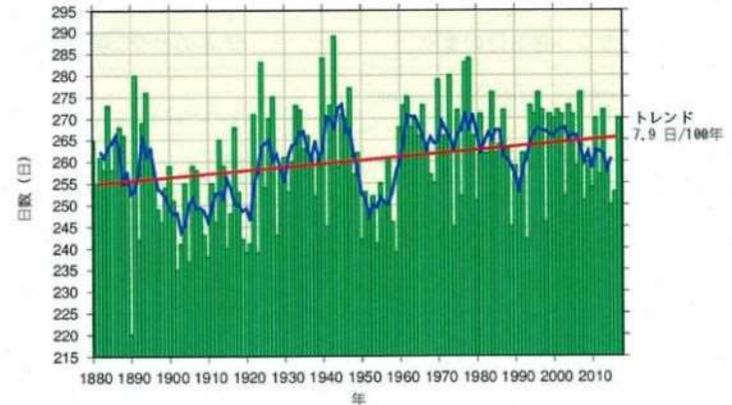
関東甲信地方において、1時間降水量が50mm以上の短時間強雨（滝のように降る雨）の回数が増加している。



注1) アメダスデータ。2014年までのデータを整理したもの。  
資料：「気候変化レポート 2015 ー関東甲信・北陸・東海地方ー」(2016年3月、東京管区気象台) (2014年までのデータを整理したもの) (一部改編)

図 II-1-8 関東甲信地方の1時間降水量50mm以上の回数

無降水日（日降水量1mm未満の日）は、増加（全国平均で100年当たり約10日、東京で約8日）しており、降る時には一気に沢山降るといった極端化が生じている。

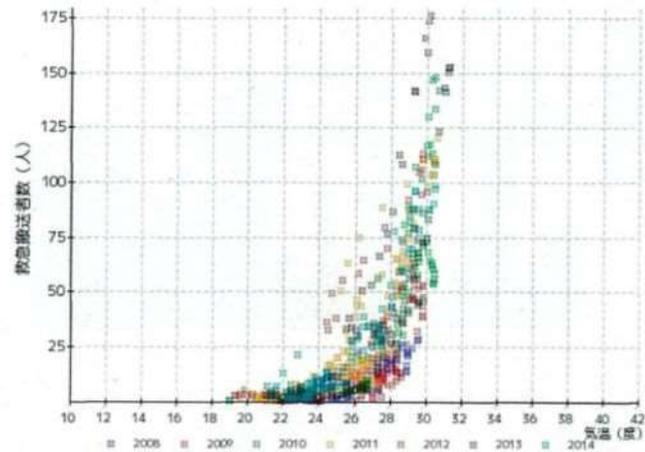


資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図 II-1-9 東京の年間無降水日数の変化

### (3) 気候変化に伴う暮らしへの影響

東京都内の救急搬送データを見ると、7日間の平均気温が20～24℃程度では、救急搬送者数は少ないが、24～26℃程度から増え始めている。特に28℃を超えると急激に増えていることがわかる。

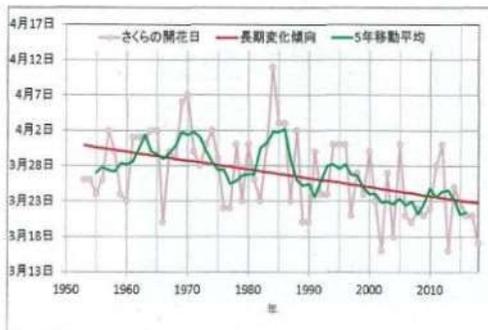


資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図Ⅱ-1-10 東京都心の7日間平均気温と東京都内の熱中症による救急搬送者数の関係

気候変化は生態系にも影響を及ぼしている。東京のソメイヨシノの開花日は50年間で約6日早まり、近年では3月中に開花することが当たり前になってきたことがわかる。

東京のサクラ開花日の変化



日本のサクラ開花日の変化



資料：気候変動への適応策に関する講演会資料「東京の気候変動～データで見る地球温暖化の実態と予測及び気象庁の取り組み～」(東京管区気象台)

図Ⅱ-1-11 サクラの開花日の比較(東京・日本)